



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和4年9月30日（金）



9月も今日で終わりです。猛暑もすっかり影を潜め、朝晩は少し肌寒いほどです。朝、ゴミ拾いをしていると、秋風に乗ってふわりと良い香りが漂ってきます。金木犀（キンモクセイ）です。この香りがしてくると、秋になったことを一層実感します。金木犀は小さなオレンジ色の花がたくさん咲くので、一目でわかります。開花とともに一斉に芳香を放ちますが、わずか数日で落花し、あたり一面がオレンジの絨毯になります。それも風情がありますね。ちなみに、本校には金木犀の木が8本あります。香りを頼りに探してみてもいいかもしれません。



学習指導要領の改訂により、音楽科では、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解することや音楽表現を工夫することが求められています。つまり、先生の言うとおりに演奏するのではなく、子供たちが音楽をつくることに重点が置かれているのです。今日の4年生の授業は、音楽会に向けて合奏の練習を行いました。まず全体で合奏したものを録画し、みんなで確認します。子供たちは、音楽の素（リズム、音色、速さ、強弱など）について、そろっているところとそうでないところを出し合いました。このことから、本時のめあてを「音の重なりを大切に合奏しよう」と設定しました。4グループに分かれて練習をします。それぞれのグループでは自分たちの演奏をタブレットで録画して、すぐに確認します。「メロディーしか聞こえていない」、「木琴の音が小さいね。」、「バスオルガンの音を小さくしよう。」など、子供たちは試行錯誤を繰り返しながら練習を進めます。授業の終末では、それぞれのグループで成果が上がったかどうか、タブレットに保存されている録画をみんなで確認しました。各楽器の音量のバランスに気を付けて演奏したことなどが子供たちから発表されました。音楽科においても、主体的・対話的で深い学びが行われており、子供たち自身が自己の成長を感じることができています。



午後は、令和4年度第1回学校保健員会が開催されました。指導助言者として、学校医及び学校薬剤師の先生ご臨席のもと、たくさんの保護者の皆様にもご参加いただきました。内容は、保健員会児童の発表、学校保健の取り組みについての説明、そしてエピペンの講習も行いました。保護者の皆様には、子供たちの発表についての感想をいただいたり、エピペン講習ではグループでシミュレーションをしたり、大変お世話になりました。ありがとうございました。

